

# 各種行事について

## 松前校区青少年育成会総会

6月18日(水)、西公民館で映画「出会い系サイトの危険」を鑑賞しました。

その後、豊田年秋会長の司会で議事が進められました。14年度の事業報告、会計報告、15年度の予算、事業計画などが決まりました。

今後、各分館での学習会を計画しています。大勢の方の参加をお待ちしています。



▲松前校区青少年育成会総会の様子

## 松前校区愛護部理事会

6月4日(水)、愛護部(野田幸正会長)の理事会を行いました。主な内容はキャンペーンについての打ち合わせです。

1 日時

7月19日(土)

2 場所

西条市石鎚ふれあいの里

3 費用

子ども 2,000円

4 大人

2,500円

4 日程など

## 囲碁クラブ活動

第2回目の囲碁クラブ活動が、6月14日(土)に行われました。

熱心な活動の結果、全員46級の認定書ももらいました。

## 第1回高齢者教室

6月25日(水)、西公民館で高齢者教室が行われました。昨年度好評だったため、今



▲高齢者教室の様子

年度も大勢の申し込みがありました。

指導は、愛媛県レクリエーション協会副会長の黒田美勢子先生です。先生は地元、宗意原にお住まいで、お知り合いの方も大勢いました。

先生の指導力と演技力で会場は60年前の教室に変身し、童心に返りました。

笑顔の文化(幸せづくり)、脳幹刺激運動(手拍子)、段階的な楽しみ(ゲーとパー)、血液循環疲労物質流し(貯筋体操)、ボケない小唄、ボケます小唄、ふれあい体操などで楽しみ、1時間半があつという間に過ぎてしまいました。

# 心のキャッチボール

古城幼稚園

尾山美香

ようね。」

と、指きりをしました。

子育ての会で、カウンセラーの先生が、「親子関係のコミュニケーションには、感情をだすことと、心が通じ合うことが大切です。まずは子どもの気持ちを認め、それから、親の気持ちを伝えていく、心と心のキャッチボールをしましょう。」と話されていました。うれしい時は、「うれしいね。」という言葉に出して共に喜び、悲しい時は抱きしめて、怒りや悲しみを共有する。このように、相手のことを感情のある一人の人間として思い合い、心のキャッチボールを繰り返すことで、親子の信頼が深まることを学びました。

数日後、幼稚園で3歳児の子どもたちと、雨あがりの砂場で全身泥んこになって遊びました。するとA君が、「あー楽しかった。先生、また明日もしようね。」と、泥んこの顔に笑みをいっぱい浮かべて言ったのです。私は、このA君の言葉と表情から「今日は、心から満足して遊んだのだな。」と、うれしくなり

「うん、また明日もきつとし

ようね。」

と、指きりをしました。

私は、A君のお母さんにもおたよりノートで、この日のうれしさを伝えました。すると、お母さんから「気が済むまで泥んこにしてやってください。私も気合いを入れて洗濯しますの。」と、返事がきました。子どもを中心にすえて、互いの気持ちを素直に伝え合う、このような心のキャッチボールをていねいにしていくことで、相手のことがわかり、信頼関係が生まれることを実感しました。

人には心があり、その心が優しさや思いやりを生み、時には誰かを傷つけてしまうこともあります。けれど、幼児期に親や周りの信頼できる大人が、心のメッセージを伝えていくことで、善悪を判断したり、相手を思いやったりすることが、できるようになるのではないのでしょうか。

これからも、子どもたちの笑顔が、保護者の方の喜びとなるように、心のキャッチボールをしていきたいと思えます。